シニアの挑戦!!

(2026年2月版)

国際協力の現場を語る

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持った人達を「JICA海外協力隊」として派遣しています。この人達は海外旅行などでの体験とは違った、海外協力隊ならではの様々な体験をしてきています。赴任国で体験した、生活、文化、人々との触れ合い、苦労、喜び、伝えたいメッセージなどを熱く語っていただきます。

◆日　時　：毎月第3水曜日 15時00分～16時45分
◆タイトル：シニアの挑戦 !!　国際協力の現場を語る
◆会　場　：JICA横浜　　Web会議(Zoom)併用
◆主　催　：NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会　◆協 力：JICA横浜
◆会　費 :無 料(どなたでも自由に参加でき同時にZoomによるWeb会議も実施しますのでこちらへも参加できます)

会員以外の方でWeb会議への参加希望者は、
1. 氏名　2. メールアドレス 3.「体験発表会参加希望」を明記の上、以下へメールをお送りください。
メール宛先：info@jicasvob.com
Web会議に参加するための招待メールをお送りします。

赴任国(講演者)	「タイトル」　講演概要	
第240回 2月18日 (水) マレーシア (永江　豊)		**「職業訓練の教材のデジタル化支援」** 日本の民間企業でITに従事し、国内外のデジタル化を支援した経験を活かし、マレーシアの職業訓練の活動を支援しました。　マレーシアでは、1981年のルックイースト政策以降、工業化の発展は目覚ましく、先進国入りも視野に入る勢いです。そのような状況で、支援活動や日々の生活を通して感じた点についてお話します。
第241回 3月18日 (水) バヌアツ (石田　淳子)		**「共に生きる幼児教育」** バヌアツ共和国での幼児教育を通し、文化や価値観の異なる社会の中で、現地の人々と共に暮らし、共に考えながら実践を重ねてきました。配属先での立場や複雑な人間関係、活動が持つ二つの側面、そして孤独な実践の中で育まれた信頼関係について現地での生活や具体的なエピソードを交えてお話しします。
第242回 4月15日 (水) マレーシア (前川　貴夫)		**「マレーシアの電信は日本よりも先進国、、、」** マレーシアのタイ国境に近いクダ州クリムという地方都市の先端技術訓練センターにて通信技術の教育に携わりました。マレーシアには日本より早くヨーロッパからの海底通信ケーブルが繋がっていました。配属先では地元の日系企業と技術協力関係を強化し、地元自治体とも防災システムの構築に向けて連携を強化しました。
第243回 5月20日 (水) チェコスロバキア他 (岩井　克己)		**「国際協力を脅かす国際テロの実態」** 国際貢献とは世界の貧困との闘いであり、貧困から生まれた不条理との闘いである。不条理はしばしば過激な思想を生み国際テロ事件となって世界を恐怖に陥れた。私は欧州で冷戦崩壊を体験して以降、国際テロ対策などに携わりました。その一端をご紹介します。
第244回 6月17日 (水) モンゴル (横溝　清子)		**「モンゴルでの日本語教育支援活動」** モンゴルの首都、ウランバートル市教育局に所属し、初等中等教育の外国語科指導主事の下、同僚の青年海外協力隊員2名と協力し、公立校の現地人日本語教師への日本語教授法や教室活動の指導を行った。その他、月2回の公私立校の日本語教師勉強会、教材作成、日本語キャンプ、日本文化紹介、学校訪問など活動は多岐に亘った。